

令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）のポイント

1 事業計画（案）のポイント

- 観光情報総合サイト「いわての旅」へのアクセス動向を分析しながら、ホームページやSNSを活用した観光情報の集積や発信を強化し、本県観光の魅力のタイムリーな情報発信に取り組む。
- 観光客誘致説明会・教育旅行説明会を、引き続き東京都や大阪市、函館市など主要都市で開催するとともに、教育旅行における方面変更を検討する学校への相談対応や支援を行う。
- 国際観光については、県や関係機関と連携して、台湾やタイなどに向けてイベントや商談会などの誘致拡大に取り組む。
- おもてなし向上のため、バリアフリー観光促進のための研修会やSNS活用研修会を開催するほか、国内外の観光客を対象とした接遇に係る講師派遣を行い（新たに欧米人向け講師を追加）、受入態勢の強化に取り組む。
- 急激な物価変動への対応が難しい教育旅行受入施設を支援するため、支援金を給付し、教育旅行の誘致につなげる。
- いわて観光データマネジメントプラットフォーム（いわて観光DMP）を拡充するとともに、市町村等が行ういわて観光DMPを活用した独自調査の支援や、マーケティング力のレベルアップに向けたワークショップを開催する。

2 収支予算（案）のポイント

- 賛助会員会費について、令和7年度は令和6年度（減免なし）と同額の会費額をお願いする。（ご理解とご協力をお願いします。）
- 支出については、ホームページの管理運営費用や教育旅行情報発信ツール作成費用などで事業費が増加となるが、引き続き節減や効率化に努めながら、観光客誘致に向けて効果的な事業を実施する。

※会員様毎の令和7年度の会費は資料本体12ページから一覧でお示ししています。